

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成19年12月25日(火) 第2390回(本年度第22回)例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (12/25)

クリスマス家族例会

12月18日(第2389回)例会報告

点 鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓 話：市政について

榎本政規 君

会長報告

◆会長ショートスピーチ

今回はしもやけについてお話したいと思います。今ではややマイナーな病気となっていますが、私が子供の頃、即ち第2次世界大戦の前後しばらくの頃はまことにありふれた病気で、多くの人が冬になれば避けて通れない病気だったような気がします。症状では私の例だと、まず手の甲から指の先まで真っ赤にはれ上がり、痛痒い状態が続き、ついにはその上に水ぶくれが生じ、これが破けてぐしゃぐしゃになってこれに黄色の軟膏など塗っているうちに、“かさぶた”に覆われて温泉饅頭のように黄色に腫れあがったままになってしまう。このまま手が腐ってしまうのではないかと子供心にも大分心配しましたが、春の暖かさとともに、元の手の甲にもどり安心するというのが毎年くりかえされました。小学校くらいになるとさすがにここまでにはならないまでも、手足などの一部が赤く盛り上がり痛痒いという状態を繰り返しておりました。

成因は寒さのための循環障害で栄養状態や体質なども絡んでおり、発生には個人差が大きいようです。冷たくジメジメした環境は、その発生には真に適した条件です。治療として私が子供の頃は、毎晩寝る前に烏瓜の入ったお湯や唐辛子湯で、しもやけになった手足を温めておりましたが、ぜんぜん利かない。民間療法も医学もお手上げだったような気がし

次回の卓話 (1/8)

年男スピーチ①

ます。ただ冬の寒さに耐えながら我慢していればやがてやってくる暖かい陽気が病気を治してくれる。

そんな時代から見ると最近はいろんな意味でもやけができにくい環境になりました。まず住居が暖かい、衣服が良くなっている、栄養が良くなっている。おまけに地球温暖化などという環境の変化も現れました。このような事情により、しもやけで悩む方の数はぐっと減ってきたようです。しかし今でもしもやけになる方はいらっしゃいます。では今はどのようにして治療しているかというと、専門的には色々試みられていますが、私はビタミンEの内服と軟膏を処方しております。環境が良いこともあるのですが、このくらいの治療で快方に向かうことが多いようです。しもやけにかかりやすい方は、秋口からビタミンEの内服をすると予防となります。

幹事報告

① 2009-10 年度派遣

・ロータリー財団国際親善奨学生候補者の募集案内

受付期間：08年1月1日～08年5月31日

書類選考試験期日：08年6月2日

募集人数：地区5名程度(厳選)

・入学希望のロータリー世界平和フェローシップ募集案内

受付期間：08年1月1日～08年4月30日

募集人数：地区1名程度(厳選)

② 鶴岡市青少年育成市民会議指導部会開催について

日時：12月26日(水) 受付10:00～

締切：12/21

会場：鶴岡市青少年育成センター 東庁舎2F

会 長	真 島 吉 也
副会長	富 樫 松 夫
幹 事	本 間 昭 吉

会報委員会
事務局

青柳孝治 佐々木喆彦 白幡憲一郎
鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

賜暇願い・・・阿蘇司朗君